

令和元年度 卒業論文

# 吉本新喜劇のタイトルにおける表現特性

大阪教育大学 教育学部

学校教育教員養成課程 国語教育専攻 小学校コース

国語表現ゼミナール

162114 北口 奈美希

指導教員 野浪 正隆先生

令和二年 1月31日 提出

(原稿用紙換算 176枚)

# 目次

序章 研究動機・目的

第1章 研究にあたって

第1節 研究対象

第2節 研究方法

第2章 分析

第1節 2017年タイトルの分析

第2節 2018年タイトルの分析

第3節 2019年タイトルの分析

第3章 分析結果・考察

第1節 吉本新喜劇のタイトルに見られる特徴の分析結果と考察

第2節 タイトルと物語との関連性についての分析結果と考察

第4章 まとめと今後の課題

第1節 まとめ

第2節 今後の課題

終章 おわりに

## 序章 研究動機・目的

私は、幼少の頃より吉本新喜劇が好きで、よくテレビで放送された新喜劇を視聴している。長年テレビで放送され、近年では座員が全国テレビのバラエティ番組等に出演するなど、吉本新喜劇が今でも支持を集めているのは明白である。人気の理由はもちろん舞台のストーリー展開のおもしろさ、座員の個人個人のギャグのおもしろさだろう。しかし、私は各タイトルも人気の理由なのではないか、と感じた。

吉本新喜劇の舞台には全てタイトルがついており、それらは毎回ユーモアがあり、視聴者の興味を惹くものなのである。実際に、私がテレビやスマートフォンで吉本新喜劇を視聴する際には、タイトルを見て内容や登場する座員を予想したり、その日どれを視聴しようか選ぶときの判断材料にもしたりする。他の舞台や小説、漫画などの本にもタイトルがあるように、吉本新喜劇の舞台にタイトルがあることは当たり前ではあるが、吉本新喜劇のタイトルには中心人物が含まれていたり、映画やテレビドラマのタイトルのパロディだったりするものが多い。これは、視聴者に「誰が出演するのか」「どんなストーリー展開なのか」を予想させる目的だけでなく、受け手をタイトルだけで笑わせるという目的もあるのではないだろうか。それでは、吉本新喜劇のタイトルにはなにか傾向があるのではないか、ということ疑問に思うようになった。また、吉本新喜劇のタイトルはそのほとんどが工夫を凝らされたものであるが、そのタイトルと物語展開にどのような関係があるのか、ということも疑問に抱きはじめた。今回の研究を通して、その疑問を解決することで吉本新喜劇の新しい見方を発見し、今後吉本新喜劇を視聴するときより深く吉本新喜劇を見ることができるようでないか、と思い、研究をしようと考えた。

# 第1章 研究にあたって

## 第1節 研究対象

吉本新喜劇はテレビ放送分は週に1公演だが、「よしもと祇園花月」「なんばグランド花月」他いくつかの劇場で毎日のように公演が行われている。しかし、公式サイトでタイトルが公表されているのはテレビ放送分だけである。そのため、2017年1月14日から2019年8月31日までの間にテレビで放送された全126タイトルの吉本新喜劇を研究対象とする。タイトルは以下に示す。

対象内には通常より放送時間が長いスペシャル放送もあるが、その場合は公演タイトルのみを研究対象とする。

2017年		2018年		2019年	
涙の新ロケーション	打ち上げ花火、田舎で見るか？都会で見るとか？	正月 SP「たべてんか」	この願い、天まで届け！	家族円満が一番い～のしし！	すち子の、10年目の浮気
ヘソで茶を沸かすほどの熱い愛	潜入先はお水の世界！？	すち子の、なんじゃ患者でドクターじゃ！	茂造の、親の不始末・子の後始末	救世主は新入社員！？	恩返しは突然に
旅路は楽しい、恋路は陰し・・・？	プロレス少女の場外乱闘	時をかける親子！？	ニートはそろそろやめネート！？	静かなはずの騒がしい旅館	博士の最後の発明
すち子の、再会・遊園地かーい！	どんなもんだい？跡継ぎ問題	縁起でもない演出家！？	レンタル彼女はなんたる彼女？	すち子の、口を閉ざす男	すち子の、ウチはなにわの取り立て屋
シゲオとアキコと男と女	素敵な宝石ドロボウ	茂造の、チヨイス！チエイイス！クライシス！	すち子の、夢を叶えるギター	大恋愛～顔パンパンな君へ	藍五郎の、ハッピーな誕生日かい？
すち子の誰やねん！？	茂造の嫁姑バトル	スナックママの一本勝負	茂造の、難問、鬼門、	藍五郎の、家族の願い	幽霊の子！？

どこやねん！？		負！？	前代未聞	を叶えるぞう！？	
手錠で繋がれた愛情！？	すち子の、目指せ恋の金メダル！	旅館、アカン！	藍五郎、恋の花火を打ち上げろ！？	ベストフレンドな誘惑	すち子の、無人島サバイバル
偽りなき夫婦	見て見ぬフリには、ご用心！？	すち子の花月サーカス危機一髪！	鹿児島のは以心伝心！？	茂造じいさんとおしみばあさん	
すち子の花月健康ラ・ラ・ランド	すち子のスター誕生！	茂造の、ゲット・バック・バースデー	すち子の、スリリングな！？夏祭り	藍五郎の、そこのこそ泥こそ息子！？	
茂造の、酒蔵の宿へようこそ	茂造の、再婚・結婚・離婚！？	肩身の狭い旦那さん、肩身のデカイ藍姐さん	シゲオとアキコのアンビリバーボー！	花月商店街60年の歴史！？	
結婚への試練は底が知れん・・・	相部屋はいかが？	おしどり夫婦は仮面夫婦！？	藍ちゃんと、お婆ちゃんの夏	二人の幽霊！？	
オタク溢れる森のペンション	いてはいけない男	なんてっ探偵、名探偵！？	お父さんは悩めるお年頃！？	すち子の、私マウンテンで恋してん！	
知らぬが仏様！？	劇的な恋！？	眠れない男	トイレのすち子さん	茂造の、遠くて近い存在	
説得できない男	すち子の、年末にジャンボな騒ぎが起こる村	すち子のトワイライト・カゲツプレス	茂造の、ドリミング・シスターズ！	ウサギ追いし土管公園！？	
3年B組茂造先生～熱血指導編～	双子の未来は双定外！？	漫画家は大変でおまんがな・・・	お父ちゃんの、アホ～！	内場夫婦はいい～！夫婦	
崖っぷちの熱血男	頑固親父と馬面男	茂造の、ファーザー・ファーザー	すち子の、チャンネルはそのまま	訳あり物件に幸せあり！？	

			ま！		
秘密任務は つらいよ		入っちゃダメよ！？	帰れないバ ーベキュー	学食はおふ くろの 味！？	
すち子の、 社員食堂ラ ブストーリ ー		すち子の、 待てど暮ら せどエアポ ート	茂造の、グ ッバイ・ラ バイ！	ゾットする 結婚相 手！？	
シゲオとア キコと新郎 新婦		すち子の、 南の島にめ んそーれ！	藍五郎の、 お宝はあな た！？	藍五郎の田 舎のみんな とい～なか に	
すち子の純 愛ホストク ラブ		茂造の、決 めろ！夢の3 ポイントシ ュート！	後悔先に立 たず？そん なことない かもしれん ぞ～	隣の芝生 は、半分青 い。	
恋する乙女 はちょっぴ り太め		居座り病棟 24時	すち子の、 カゲッシー で村おこっ しー	諸太郎の、 家族の絆を 大手術！？	
甘い苦いは 選択次 第！？		ババを引く パパ！？	茂造の、フ ァミリー・ ウォーズ！	父の想 いは、ゴリ霧 中！？	
茂造の真夏 のシークレ ットラブ		伝言板の前 にも3年！？	すち子と年 末のジャン ボな仲間た ち	後悔しない 奴らの航海	
万引き、取 引き、ひっ きりな し！？		好きだから って、結婚 できな い！？	仲居さんは 小学生！	すち子の、 大豪邸！サ スパンツ劇 場	
リーゼント のシゲちゃ ん、恋をす る		茂造の、逃 亡・無謀・ 変貌	茂造の、恋 のダブルス コア！	おしみの家 具屋でGO!	
すち子の、		絶体絶命、		妹思いは荷	

サマー愛ラ ンド		顔パンパン		が重い!?	
-------------	--	-------	--	-------	--

## 第2節 研究方法

まず上に示した Excel で表にした 126 タイトルを用い、いくつか表を作成する。ワークシートは①2017年放送タイトル分析用、②2018年放送タイトル分析用、③2019年放送タイトル分析用を作成する。

まず、各年のタイトルと各作者、演出者を羅列した表を作成し、

- ・各タイトルが他作品のタイトルやことわざなどをもじったものかどうか
- ・それぞれのタイトルを単語ごとに分けて、特徴的なものがあるかどうか

という観点から分析する。

分析後は、それぞれの特徴を

「場所設定」：場所に関する舞台設定が明確にされているタイトル。

「時期設定」：季語等、時期に関する舞台設定があるタイトル。

「人物設定」：「男」「少女」など登場人物の役柄を示す言葉を含んでいる。  
その言葉がパロディの作品の一部の場合は例外とする。

「登場人物」：タイトルに登場人物の個人名を含んでいる。

「恋愛もの」：タイトルに「恋」「愛」等恋愛要素をもつ単語を含んでいる。

「パロディ」：他作品をもじったタイトル。

「もじり」：ことわざや故事成語をもじったタイトル。

「同音」：タイトル内に同音の単語を複数含んでいる。

に分け、統計を取り、その数に差があるか、年ごとに傾向があるのかどうかを見ていく。

次に作者にも着目し、誰がどのようなタイトルを付けているのか、という傾向があるのか、を見て特徴と作者に関連性はあるか考えていく。

また、各タイトルと内容に関連性があるかも確認していく必要がある。そのために研究対象の吉本新喜劇全タイトルを視聴できる「大阪チャンネル」に掲載されているあらすじと、タイトル分析を行った表を見比べ、タイトルの内容と実際の内容にギャップがあるかどうかを見ていく。例外があるかも確認しつつ、そこに傾向または規則性を見いだすことを試みる。

以上が今回の研究の方法となる。

## 第2章 分析

この章では、第1章第2節で述べたように、吉本新喜劇のタイトルを分析するために作成した表を用いて分析を行う。表①から③では、各タイトルとその作者、演出者（一般的に脚本家とも言われるが、吉本新喜劇では作者、演出者と表記されているため、以降も作者、演出者と書くこととする。）、タイトル毎の分析内容、そこから考えられる各タイトルの特徴をまとめて表記している。

次に、各項目の内容について説明する。

「タイトル」では、吉本新喜劇のタイトルを表記している。通常は番組表に表記されるタイトルは劇自体のタイトルと一致しているため、そのタイトルを表記することとしているが、そうでない場合がある。通常は吉本新喜劇のテレビ放送時間は1時間であるが、正月等には特番として2時間以上放送されることがある。その特番は、番組表などで表記されるテレビ番組自体のタイトルと、劇自体のタイトルは違うことがあるのである。たとえば、2019年初回放送回は、番組表に記載されているタイトルは「正月 SP」であるが、その回で放送された劇のタイトルは「家族円満が一番い～のしし!」である。本研究の対象はあくまでも「吉本新喜劇の劇自体のタイトル」であるため、分析を行うための表の「タイトル」の項目には後者の選択し、前者である番組のタイトルは研究対象から除外している。

「作・演」の項目では、劇の作者、演出者を表記している。本来は脚本家などとする場合も多いが、吉本新喜劇の場合、実際に「作・演」と表記されているため、脚本家等の言い換えを行わず、そのまま表記することとしている。また、1つの劇で作者・演出者が異なる場合と同じ場合がある。一見して後者の場合が多いと感じたため、「作者」「演出者」の項目を分けず、1つの項目とした。統計を取る際にも両者を分けて見るのではなく、セットとして見ていくこととする。

「分析」の項目では、タイトル第1章第2節でも述べたように、各タイトルをキーワード単位またはタイトル全体をみて分析を行ったものを、箇条書きにして記している。キーワード単位の分析では、「旅館」「茂造」「アカン」等、タイトルに含まれる言葉を細かく分け、それがタイトル中でどのような役割をもっているのか、どのような工夫がされているか、また、タイトルの特徴を表す言葉はどれか、という視点から分析を行う。タイトル全体の分析では、主に映画などのパロディや、ことわざなどのもじりではないか、という所に着目し、分析を進める。また、各キーワードからストーリー展開が安易に予想できるようなものは、どのような展開が予想できるか、も表記している。

「特徴」の項目では、「分析」で見つけた各タイトルの特徴を挙げて表記している。なお、タイトルの特徴に関して、1つのタイトルに複数の特徴が含まれるものが多数あった。特徴が複数あると分析したタイトルとして「すち子の純愛ホストクラブ」を以下に例示する。

すち子の純愛ホストクラブ	村上太	「すち子」→中心人物 「純愛」→恋愛もの 「ホストクラブ」→舞台	登場人物
			恋愛もの
			場所設定

この場合、どれが一番大きい特徴か、を決めたり特徴を1つに絞ったりせず、全てをそのタイトルの特徴とする。さらに、「登場人物・恋愛もの・場所設定」というようにひとまとめにしてカウントするのではなく、「登場人物」「恋愛もの」「場所設定」というように、ひとつずつカウントすることとする。これは、のタイトル分析においても同様とする。

ただし、逆に第1章第2節で定めた特徴のいずれにも該当しない場合もある。その場合は「特徴」の欄を空白にしている。

次頁からは、以上の留意点を踏まえて作成した表を用いて分析を行う。

## 第1節 2017年タイトルの分析

まず、以下に2017年の吉本新喜劇タイトルを分析した表（第1章第2節に示した①）を示す。なお、2017年分のタイトル数は42である。

タイトル	作・演	分析	特徴
涙の新ローテーション	矢田和也・手島英治	「ローテーション」→辻本茂雄を中心とした座員3人での「ローテーショントーク」というネタ。 「新」→ネタに関して、座員のメンバーが替わるか、新しいネタになっているか、が考えられる。	
ヘソで茶を沸かすほどの熱い愛	稲見周平	「ヘソで茶を沸かす」→ことわざ。滑稽、ばかばかしいという意味。 「熱い」→「沸かす」を受けての言葉 「愛」→恋愛もの	もじり
旅路は楽しも、恋路は険し・・・？	当山穂高	「旅路」→旅行がテーマ 「恋路」→恋愛もの 「険し」→登場人物の恋愛がうまくいっていない、片思いと予想される	恋愛もの
すち子の、再会・遊園地かーい！	佐藤トモ	「すち子」→中心人物 「再会」と「かーい」で韻を踏んでいる。 「遊園地」→舞台が遊園地	登場人物 同音 場所設定
シゲオとアキコと男と女	矢田和也・手島英治	「シゲオ」「アキコ」→登場人物 「男と女」→恋愛もの？痴情のもつれの可能性	登場人物 恋愛もの 人物設定
すち子の誰やねん！？どこやねん！？	村上太	「すち子」→登場人物 「誰やねん！？どこやねん！？」→登場人物が記憶喪失	登場人物 同音
手錠で繋がれた愛情！？	大東伸明	「手錠」→舞台が警察・交番 「手錠」「愛情」→韻を踏んでいる 「愛情」→家族愛、男女愛	同音
偽りなき夫婦	鳴瀬富三子	2015年放送の「偽装の夫婦」のパロディ	パロディ
すち子の花月健康ラ・ラ・ランド	佐藤トモ	「すち子」→中心人物 「健康ラ・ラ・ランド」→舞台が健康ランド 「ラ・ラ・ランド」→2016年上映の映画。ロマンス／ミュージカル映画であるので、その要素が劇に含まれている可能性がある。	登場人物 パロディ 場所設定
茂造の、酒蔵の宿へようこそ	村上太	「茂造」→中心人物 「酒蔵の宿」→舞台 「ようこそ」→誰かが宿泊に来る	登場人物 場所設定

結婚への試練は底が知れん・・・	矢田和也・ 手島英治	「結婚への試練」→登場人物が結婚に至るまでのトラブルがメインストーリーかつ、恋愛もの 「試練」「知れん」→語尾が「れん」という同じ音で揃えられている。	恋愛もの 同音
オタク溢れる森のペンション	当山穂高	「オタク溢れる」→オタク役が複数人登場する 「オタク」というインドアの印象がある言葉と、「ペンション」というアウトドアの印象がある言葉との間にギャップが生まれている。 「森のペンション」→舞台	場所設定
知らぬが仏様！?	宮崎高章	「知らぬが仏」→ことわざ。 「様」→ことわざに「様」を付け足していることから、仏様が実際に劇中に登場する可能性が考えられる	もじり
説得できない男	鳴瀬富三子	2006年放送の「結婚できない男」をパロディ	パロディ
3年B組茂造先生～熱血指導編～	矢田和也・ 手島英治	1079～放送の「3年B組金八先生」をパロディ 「茂造」→中心人物	パロディ 登場人物
崖っぷちの熱血男	大崎知仁	2012年上映の「崖っぷちの男」のパロディ。 「熱血男」→登場人物の特徴。	パロディ
秘密任務はつらいよ	村上太	「男はつらいよ」のパロディ 「秘密任務」→危機感のある仕事物語の中心となると予想できる。	パロディ
すち子の、社員食堂ラブストーリー	佐藤トモ	「すち子」→中心人物 「社員食堂」→舞台 「ラブストーリー」→トレンドドラマをパロディ	登場人物 パロディ
シゲオとアキコと新郎新婦	矢田和也・ 手島英治	「シゲオ」「アキコ」→中心人物 結婚式が舞台の可能性が高い 「新郎新婦」→登場人物の状況	登場人物 人物設定
すち子の純愛ホストクラブ	村上太	「すち子」→中心人物 「純愛」→恋愛もの 「ホストクラブ」→舞台	登場人物 恋愛もの 場所設定
恋する乙女はちょっぴり太め	藤原和博	「恋する」→恋愛もの 「乙女」「太め」→登場人物の特徴。	恋愛もの 人物設定
甘い苦いは選択次第！?	大東伸明・ 稲見周平	「甘い」「苦い」→コーヒーを連想させる。 「甘い」「苦い」「次第」→語尾を「い」の音で揃えている。	同音
茂造の真夏のシークレットラブ	矢田和也・ 手島英治	「茂造」→中心人物 「シークレット」→秘匿にしている。しなければならぬ恋愛物語	登場人物 恋愛もの 時期設定

リーゼントのシゲちゃん、恋をする	矢田和也・ 手島英治	「シゲちゃん」→中心人物 「リーゼント」→中心人物の特徴 「恋をする」→恋愛もの	登場人物 恋愛もの
すち子の、サマー愛ランド	佐藤トモ	「すち子」→中心人物 「サマー」→舞台の時期が夏だという設定。 「愛」→恋愛もの	登場人物 時期設定 恋愛もの
打ち上げ花火、田舎で見るか？都会で見 るか？	玉井総司	2017年上映の「打ち上げ花火、下から 見るか？上から見るか？」のパロディ 「田舎」「都会」→相反する場所であ り、二つの選択肢で揺れる心情が表れて いる	パロディ 時期設定
潜入先はお水の世界！？	藤原和博	「潜入」→登場人物が警察官の可能性 「お水」→舞台が水商売の店。	場所設定
プロレス少女の場外乱闘	藤原和博	「プロレス少女」→登場人物の特徴 「場外乱闘」→単に試合中の場外乱闘と いう意味ではなく、登場人物（プロレス 少女）の、リング外でのトラブルが物語 の中心であると考えられる	人物設定
どんなもんだい？跡継ぎ問題	当山穂高	「もんだい」「問題」→韻を踏んでい る。 「跡継ぎ」→後継がない、もしくは復 数人いることから起こるトラブルが描か れると考えられる	同音
素敵な宝石ドロボウ	池本聡太	「宝石ドロボウ」→登場人物の特徴 「素敵な」→プラスのイメージを受け る。「ドロボウ」から受けるマイナスイ メージとのギャップがある	人物設定
茂造の嫁姑バトル	矢田和也・ 手島英治	「茂造」→中心人物 「嫁姑」→嫁役、姑役が出演すること が予想できる。 「バトル」→嫁姑の揉め事が物語の中心 となる。	登場人物
すち子の、目指せ恋の金メダル！	佐藤トモ	「すち子」→中心人物 「恋」→恋愛もの 「金メダル」→競技で勝つことと同義で あり、このタイトル上では「恋を成就さ せる」という意味がある	登場人物 恋愛もの
見て見ぬフリには、ご用心！？	稲見周平	「見て見ぬフリ」→本来であれば「振 り」であるが、漫才等でボケを誘発させ る「フリ」と掛けている。つまり、突然 のフリ（アドリブ）に注意せよ、という 意味にも捉えられる。	もじり

すち子のスター誕生！	佐藤トモ	「すち子」→中心人物 「スター誕生！」→テレビ番組のパロディ。このことから、芸能界が舞台だと考えられる	登場人物 パロディ
茂造の、再婚・結婚・離婚！？	矢田和也・手島英治	「茂造」→中心人物 「再婚」「結婚」「離婚」→言葉をたたみかけており、ドタバタ感を受ける。また、一人の人間出来事であれば、通常であれば、順序として妥当なのは「結婚」「離婚」「再婚」である。そのため、複数の人間の出来事の可能性がある。	登場人物 同音
相部屋はいかが？	藤原和博	「相部屋」→旅館・ホテルが舞台。 「いかが？」→宿泊施設側の提案にしては軽い言葉。あえて丁寧語にしないことで、ギャップが生まれている。	場所設定
いてはいけない男	村上太	「男」→中心人物の可能性が高い。 「いてはいけない」→劇中で排除されるか、排除されそうになる役割であることが分かる。	人物設定
劇的な恋！？	藤原和博	「恋」→恋愛もの	恋愛もの
すち子の、年末にジャンボな騒ぎが起こる村	佐藤トモ	「すち子」→中心人物。 「年末ジャンボ」→年末の宝くじ。宝くじを巡るハプニングが起こるといことが推測される。	登場人物 時期設定
双子の未来は双定外！？	佐藤トモ	「双子」→登場人物の特徴。 「双定外」→本来であれば「想定外」という漢字表記であるが、「双子」とかけて漢字を変えている。	もじり
頑固親父と馬面男	宮崎高章	「頑固親父」→登場人物の特徴。 「馬面男」→登場人物の特徴であり、「馬面」といじられている座員の吉田裕を指していることが分かる。	人物設定

この表から見て分かるように、2017年タイトルにおいて、予め定めた特徴のいずれにも当てはまらなかったものは「涙の新ローテーション」のみである。他タイトルは1から3つの特徴が見られた。

ここでは、「特徴」の項目に着目したい。他の項目については、次章にて述べることとする。

以下の表は、2017年タイトルでの特徴ごとの合計数を表したものである。また、以下のグラフは、その割合を多い順に円グラフで表したものである。

特徴	個数	2017年タイトルに対する各特徴の割合
場所設定	7	16.3%
時期設定	4	9.3%
人物設定	7	16.3%
登場人物	17	39.5%
恋愛もの	10	23.3%
パロディ	9	20.9%
もじり	4	9.3%
同音	8	18.6%

2017年タイトルにおける特徴の総数と割合



2017年タイトルにおける特徴の割合（割合が高いものから時計回りに順に表示）

前頁で示した表とグラフから分かるように、2017年分タイトルにおいては、「登場人物」「恋愛もの」「パロディ」「同音」「場所設定」「人物設定」「時期設定」「もじり」の順で多いことが分かる。この節では、この特徴を年ごとに傾向が分かれていると考えられる「登場人物」「パロディ」について見ていく。

他の特徴については、年ごとの差異がそれほどない、と判断したため、第3章にて述べることにする。

はじめに「登場人物」について触れる。2017年全43タイトルの内17タイトル、つまり約4割に登場人物の個人名が含まれているということが分かる。以下の表はどのような個人名がどれだけ用いられているかを示したものである。

個人名	用いられた回数
すち子	9
茂造	5
シゲオ	2
アキコ	2

この表から、「すち子」「茂造」という個人名称が主に用いられていることは明白である。また、これらの名称は座員の名前ではなく役名で、「すち子」は座長のすっちー、「茂造」「シゲオ」は座長の辻本茂雄、「アキコ」は座員のアキが演じている。このことから、タイトルに個人名が含まれている座場合、そのほとんどが座長の演じる役名だということが分かる。逆に言えば他の座員の役名はタイトルに用いられていないのである。このことについては、第3章にて考察し、詳しく述べることにする。

次に「パロディ」について触れる。パロディで用いられた作品と、その作品の上映・放送・発売された年、吉本新喜劇のタイトルでどのようにパロディされているか、を以下の表で示す。

吉本新喜劇タイトル	パロディ元作品	年
「偽りなき夫婦」	「偽装の夫婦」	2015
「すち子の花月健康ラ・ラ・ランド」	「ラ・ラ・ランド」	2017
「説得できない男」	「結婚できない男」	2006
「3年B組茂造先生～熱血指導編～」	「3年B組金八先生」	1979～
「崖っぷちの熱血男」	「崖っぷちの男」	2012
「秘密任務はつらいよ」	「男はつらいよ」	1968～
「すち子の、社員食堂ラブストーリー」	「東京ラブストーリー」	1991
「打ち上げ花火、田舎で見るか？都会で見るか？」	「打ち上げ花火、下から見るか？上から見るか？」	2017
「すち子のスター誕生！」	「スター誕生！」	1971～

この節で「パロディ」についてさらに詳しく分析を行おうと試みたのは、その年に流行った作品が用いられていると考えたからである。しかし、前頁で抽出した結果、2017年に上映されていた作品ももちろんパロディされているが、30年以上前に上映されていた作品の方が多くパロディされている。これについても、次節以降で他の年のタイトル分析を見つつ、次章で考察し、述べていきたい。

## 第2節 2018年タイトルの分析

ここでも、まず、以下に2018年の吉本新喜劇タイトルを分析した表（第1章第2節に示した②）を示す。なお、2018年分のタイトル数は51である。

タイトル	作・演	分析	特徴
正月 SP「たべてんか」	鳴瀬富三子	2017年下半期の連続テレビ小説「わろてんか」のパロディ 「たべ」→食が物語または登場人物に関連する可能性が高い。	パロディ
すち子の、なんじゃ患者でドクターじゃ！	佐藤トモ	「すち子」→中心人物 「なんじゃ」「患者」「じゃ」→韻を踏んでいる。 「患者」「ドクター」→舞台は病院	登場人物 同音 人物設定
時をかける親子！？	玉井聡司	映画「時をかける少女」のパロディ 「親子」→登場人物の関係性。	パロディ
縁起でもない演出家！？	藤原和博	「縁起でもない」→不吉であること。 「演出家」→登場人物の職業。演出家がトラブルを引き起こすとみられる。	人物設定
茂造の、チョイス！チェイス！クライシス！	矢田和也・手島英治	「茂造」→中心人物 「チョイス」「チェイス」「クライシス」→いずれも語尾が「ス」であり、韻を踏んでいる。	登場人物 同音
スナックママの一本勝負！？	玉井聡司	「スナック」→物語の舞台であると推測できる。 「ママ」→登場人物の職業 「勝負」→「ママ」と敵対関係にある人物が登場するとみられる。	人物設定
旅館、アカン！	稲見周平	「旅館」→物語の舞台 「旅館」「アカン」→韻を踏んでいる。	場所設定 同音

すち子の花月サーカス危機一髪！	大崎知仁	「すち子」→中心人物 「花月」→吉本新喜劇の劇場である「なんばグランド花月」からとっている。 「サーカス」→物語の舞台 「危機一髪」→危険と隣り合わせだという意味。	登場人物
茂造の、ゲット・バック・パースデー	吉田佳・手島英治	「茂造」→中心人物 「パースデー」→登場人物の誕生日の日だという舞台設定	登場人物
肩身の狭い旦那さん、肩身のデカイ藍姐さん	藤原和博	「藍姐さん」→中心人物 「旦那」→目上の男性に使う呼称であるため、登場人物の役職、特徴をここで断定することは難しい。 「肩身の狭い」→居心地が悪い、周囲を気にして憚っている様子を表している。 「肩身のデカイ」→「肩身の狭い」の対義語であれば「広い」であるが、敢えて「デカイ」という言葉を用いている。単に得意げな様子を表しているのではなく、「肩身」という言葉を掛けつつ「藍姐さん」の身体的特徴を表している。→慣用句のもじり	登場人物
			もじり
おしどり夫婦は仮面夫婦！？	玉井聡司	「夫婦」→中心となる登場人物の関係性。 「おしどり夫婦」→仲が良い夫婦 「仮面」→偽りであるということ。一見良好な関係の夫婦が、偽りであるということを表している。	人物設定
なんてっ探偵、名探偵！？	三栗雅子	「探偵」→登場人物の役柄。 「なんてっ探偵」→「なんてったって」と「探偵」を掛け合わせた言葉。	同音 人物設定
眠れない男	本多正識・吉田佳	「男」→中心人物が男性である可能性が高い。	人物設定
すち子のトワイライト・カゲツプレス	佐藤トモ	「すち子」→中心人物 「トワイライト・カゲツプレス」→寝台列車「トワイライトエクスプレス」をもっている。 舞台が駅、または列車内である可能性が高い。	登場人物
			もじり
場所設定			
漫画家は大変でおまんがな・・・	当山穂高	「漫画家」→登場人物の職業 「おまんがな」→関西弁であり、「漫画」と掛けている。	同音
茂造の、ファーザー・ファーザー	吉田佳・手島英治	「茂造」→中心人物 「ファーザー」→「父親」が物語の中心であると考えられる。 「ファーザー・ファーザー」と2回用いていることから、父親が2人登場することも予想できる。	登場人物
			人物設定

入っちゃダメよ!?	鳴瀬富三子	バラエティ番組「土曜はダメよ!」のパロディ ある特定の部屋が物語の舞台であることが考えられる。	パロディ
すち子の、待てど暮らせどエアポート	佐藤トモ	「すち子」→中心人物 「エアポート」→空港。物語の舞台。 「待てど暮らせど」→いつまで待っても、という意味。	登場人物 同音 場所設定
すち子の、南の島にめんそーれ!	佐藤トモ	「すち子」→中心人物 「南の島」→舞台設定。 「めんそーれ」→沖縄の方言で、歓迎の挨拶の意味であることから、「南の島」は沖縄を指していることが分かる。	登場人物 場所設定
茂造の、決めろ! 夢の3ポイントシュート!	吉田佳・手島英治	「茂造」→中心人物 「3ポイントシュート」→バスケットボールで3点を得られるシュートのこと。このことから、バスケットボールが物語に大きく関わっていることが考えられる。	登場人物
居座り病棟 24 時	当山穂高	1999 年放送「救急病棟 24 時」のパロディ。病院が舞台となる。 「居眠り」→単なる睡眠ではなく、怠惰から来る眠り。登場人物が怠惰な性格である可能性がある。	パロディ 場所設定
パパを引くパパ!?	鳴瀬富三子	「パパを引く」→トランプゲームのパパ抜きから連想されるマイナスイメージの言葉。不利な状況に追い込まれるという意味。 このタイトルでは、「パパ」=父親役がパパを引いたということになる。 「パパ」「パパ」→音を合わせている。	同音
伝言板の前にも3年!?	稲見周平	ことわざ「石の上にも3年」をもじっている。 「伝言板」→以前は駅前などに設置されていたもの。現在はほとんどが撤去されている。 この背景を鑑みると、物語の舞台は一昔前の時代設定、もしくは田舎である可能性が高い。	もじり
好きだからって、結婚できない!?	玉井聡司	「好き」「結婚」→恋愛もの 恋愛結婚、政略結婚両方が取り扱われていると考えられる。	恋愛もの

茂造の、逃亡・無謀・変貌	矢田和也・手島英治	「茂造」→中心人物 「逃亡」「無謀」「変貌」→語尾が全て「ぼう」で揃えられている。	登場人物
			同音
絶体絶命、顔パンパン	村上太	「絶体絶命」→大きな危機に瀕しているということ。 「顔パンパン」→登場人物の特徴	人物設定
この願い、天まで届け！	藤原和博	放送日が7月7日であることと、「願い」「天まで」という言葉から、七夕に関する内容であると予想できる。 ここでの「天」は、天国ではなく空（夜空）であると見られる。	時期設定
茂造の、親の不始末・子の後始末	矢田和也・手島英治	「茂造」→中心人物 「親の不始末」「子の後始末」→「親」「子」、「不始末」「後始末」と対義語が用いられている。ここでは、相反する親子の様子が描かれている。	登場人物 同音
ニートはそろそろやめニート！？	玉井聡司	「ニート」→仕事をしていない大人 「ネート」→通常平仮名で表記されるが、「ニート」に掛けてカタカナ表記になっている。	同音
レンタル彼女はなんたる彼女？	三栗雅子	「レンタル」「なんたる」→語尾を「たる」で揃えている。 「レンタル彼女」→一定の時間、女性に恋人として振る舞ってもらい代わりに代金を支払ってもらうシステム。 「彼女」→恋愛ものの可能性が高い。	同音 恋愛もの
すち子の、夢を叶えるギター	佐藤トモ	「すち子」→中心人物 「ギター」→楽器。実際に劇に登場するとみられる。ギター演奏が得意な座員が登場する可能性も高い。 「夢を叶える」→願い事が叶うアイテムとしてのギター、もしくは、音楽関係の将来の夢を叶えるためのギターとして登場する。	登場人物
茂造の、難問、鬼門、前代未聞	矢田和也・手島英治	「茂造」→中心人物 「難問」「鬼門」「前代未聞」→語尾を「もん」で揃えている。	登場人物
			同音
藍五郎、恋の花火を打ち上げろ！？	藤原和博	「藍五郎」→中心人物 「恋」→恋愛もの 「花火」→夏の風物詩。夏祭りを連想させる。	登場人物
			恋愛もの
鹿児島恋は以心伝心！？	鳴瀬富三子	「鹿児島」→舞台が鹿児島 「恋」→恋愛もの	時期設定
			恋愛もの 場所設定
すち子の、スリリングな！？夏祭り	大崎知仁	「すち子」→中心人物 「夏祭り」→舞台設定	登場人物
			時期設定

シゲオとアキコのアンビリバーボー！	吉田佳・手 島英治	「シゲオ」「アキコ」→登場人物	登場人物
藍ちゃんと、お婆ちゃんの夏	藤原和博	「藍ちゃん」→中心人物 「お婆ちゃん」→登場人物 「夏」→舞台設定	登場人物 時期設定
お父さんは悩めるお年頃！？	稲見周平	「お父さん」→登場人物 「悩めるお年頃」→通常は思春期のことを指し、10代に当てはまる言葉。	人物設定
トイレのすち子さん	佐藤トモ	怪談話として有名な「トイレの花子さん」のパロディ 「すち子」→中心人物	登場人物 パロディ
茂造の、ドリーミング・シスターズ！	吉田佳・手 島英治	「茂造」→中心人物 「シスターズ」→姉妹が登場する。	登場人物
お父ちゃんの、アホ～！	藤原和博	「お父ちゃん」→登場人物 「アホ～！」→劇中ネタとして登場する事も考えられる。	人物設定
すち子の、チャンネルはそのまま！	大崎知仁	漫画「チャンネルはそのまま！」のパロディ。 「すち子」→中心人物	パロディ
帰れないバーベキュー	宮崎高章	「バーベキュー」→舞台がキャンプ場等の屋外の可能性が高い。	場所設定 同音
茂造の、グッバイ・ララバイ！	吉田佳・手 島英治	「茂造」→中心人物 「グッバイ」「ララバイ」→語尾が「バイ」の音で揃えられている。 「ララバイ」→子守歌。歌が劇に関係する可能性がある。	登場人物 同音
藍五郎の、お宝はあなた！？	藤原和博	「藍五郎」→中心人物 「お宝」→泥棒を連想させる。	登場人物
後悔先に立たず？そんなことないかもしれんぞ～	西谷隼人	ことわざに疑問を投げかける形になっている。 「かもしれん」→「そんなことない」という断言ではなく、曖昧な表現になっている。これにより、緩い雰囲気を作っている。	
すち子の、カゲッシーで村おこっしー	大崎知仁	「すち子」→中心人物 「カゲッシー」→未確認静物「ネッシー」のパロディ 「村おこっしー」→「村興し」ではなく、「おこっしー」にすることで、「カゲッシー」と語尾の音を揃えている。	登場人物 パロディ 同音 恋愛もの

茂造の、ファミリー・ウォーズ！	吉田佳・手	「茂造」→中心人物	登場人物
-----------------	-------	-----------	------

	島英治	「ウォーズ」→「スターウォーズ」や「スクール☆ウォーズ」等様々な作品があるため、どの作品のパロディかの断定は難しい。しかし、どれかのパロディである可能性が高い。 直訳すると「戦争」であるため、家族間でのトラブルを題材にしている内容と見られる。	パロディ
すち子と年末のジャンボな仲間たち	佐藤トモ	「すち子」→中心人物 「年末」「ジャンボ」→年末の宝くじを連想させる。宝くじが劇中に登場する可能性が高い。	登場人物 時期設定
仲居さんは小学生！	大崎知仁	小説「若おかみは小学生！」のパロディ 「仲居さん」→舞台が旅館	パロディ
茂造の、恋のダブルスコア！	吉田佳・手島英治	「茂造」→中心人物 「恋」→恋愛もの 「ダブルスコア」→スポーツの得点用語だが、同名のドラマもあるため、パロディの可能性も考えられる。	登場人物 恋愛もの

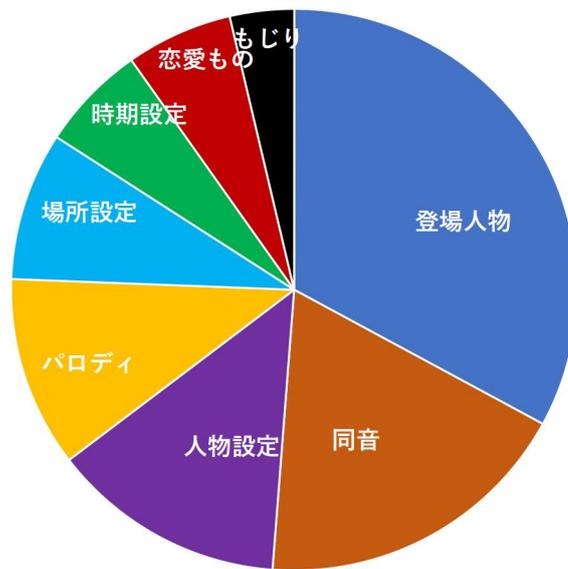
なお、2018年の全51タイトルのうち、予め定めた特徴のいずれにも当てはまらなかったものは「後悔先に立たず？そんなことないかもしれんぞ〜」のみであった。他のタイトルには1～4つの特徴が見られた。また、特徴が4つ挙げられたタイトルは「すち子の、カゲッシーで村おこっしー」のみであった。

ここから、前節と同様に「特徴」の項目に着目し、表やグラフを用いて分析を進めていく。

以下に示すのは、2018年タイトルでの特徴ごとの合計数を表した表と、その割合を多い順に円グラフで表したものである。

特徴	個数	2018年タイトルに対する各特徴の割合
場所設定	7	13.7%
時期設定	5	9.8%
人物設定	11	21.6%
登場人物	27	52.9%
恋愛もの	5	9.8%
パロディ	9	17.6%
もじり	3	5.9%
同音	15	29.4%

2018年タイトルにおける特徴の総数と割合



2018年タイトルにおける特徴の割合（割合が高いものから時計回りに順に表示）

以上の表とグラフから、2018年分タイトルにおいては「登場人物」「同音」「人物設定」「パロディ」「場所設定」「時期設定」「恋愛もの」「もじり」の順で多いことが分かった。前年と割合が大きく異なり、特に「恋愛もの」が2017年では設定した特徴の中で2番目に多く、タイトルの23.3%も占めていたが、2018年では9.8%とかなり割合が減っている。

この節でも、前節同様「登場人物」「パロディ」について抽出し、分析を進めていく。

まず、以下に2018年タイトル中で用いられた個人名と、その回数を表にして示す。

個人名	用いられた回数
すち子	11
茂造	11
シゲオ	1
アキコ	1
藍姐さん	1
藍五郎	2
藍ちゃん	1

この表から分かるように、2017年分タイトルでも登場した「すち子」「茂造」「シゲオ」「アキコ」に加え、「藍姐さん」「藍五郎」「藍ちゃん」という

個人名称が新たに用いられはじめている。後の3つの名称は、全て2017年7月に座長に就任した酒井藍が演じる役の名称である。座長に就任して、特徴のあるキャラクターをもったことでタイトルに役名が記入されているということである。また、2017年と同様に「すち子」「茂造」が最もタイトルに用いられた個人名称であることから、根強い人気と指示を集めているであろうことも想像できるだろう。

次に「パロディ」の分析に移る。パロディで用いられた作品と、その作品の上映・放送・発売された年、吉本新喜劇のタイトルでどのようにパロディされているか、を以下の表で示す。また、2018年分タイトルにおいて、「パロディ」だと考えたものの中で、「すち子の、カゲッシーで村おこっしー」は「ネッシー」、「トイレのすち子さん」は「トイレの花子さん」のパロディである。この2例は都市伝説であり、一作品ではないため、以下の表には記入しないこととした。

吉本新喜劇タイトル	パロディ元作品	年
「たべてんか」	「わろてんか」	2017
「時をかける親子!？」	「時をかける少女」	2006
「入っちゃダメよ!？」	「土曜はダメよ!」	2003~
「居眠り病等 24 時」	「救急病棟 24 時」	1999
「すち子の、チャンネルはそのまま!」	「チャンネルはそのまま!」	2008~
「茂造の、ファミリー・ウォーズ!」	「スクール☆ウォーズ」 等複数考えられる	
「仲居さんは小学生!」	「若おかみは小学生!」	2003~

上記の表を見て分かるように、2018年分タイトルも2017年分タイトルと同様にその年に流行った作品を取り入れた作品は少ない結果となった。

次節で2019年分タイトルの分析に進むが、その中でも「パロディ」について表にまとめ、3年分を通した分析を行いたい。

### 第3節 2019年タイトルの分析

以下に2019年の吉本新喜劇タイトルを分析した表（第1章第2節に示した③）を示す。なお、研究対象となる2019年分のタイトル数は33である。

タイトル	作・演	タイトル分析	特徴
家族円満が一番いいのしし！	村上太	「い～のしし」→2019年の干支にちなんで、「一番いい」と「いのしし」を掛けている。	もじり
救世主は新入社員！？	玉井聡司	「新入社員」→登場人物の特徴。	人物設定
静かなはずの騒がしい旅館	村上太	「旅館」→舞台設定。 「静か」「騒がしい」→対義語。単に「騒がしい旅館」でも通じるが、あえて「静かなはず」という情報が含まれている。 このことで、もともと静かな旅館が事件を通して騒がしくなる、ということになる。	場所設定
すち子の、口を閉ざす男	大崎知仁	「すち子」→中心人物 「男」→すち子に次いで重要となる人物の可能性が高い。	登場人物 人物設定
大恋愛～顔パンパンな君へ	とうめいあんな・佐藤トモ	2018年放送のテレビドラマ「大恋愛～僕を忘れる君と」のパロディ 「大恋愛」→恋愛もの 「顔パンパン」→登場人物の特徴。	パロディ
藍五郎の、家族の願いを叶えるぞう！？	藤原和博	「藍五郎」→中心人物 書籍「夢をかなえるゾウ」のパロディ 「叶えるぞう」→「叶えるぞ」と「ゾウ」を掛けている。	登場人物 パロディ
ベストフレンドな誘惑	平松克規・大崎知仁	文章としては、接続語は「な」ではなく「の」の方が意味は通じる。 敢えて不自然な文章にしている可能性もある。	
茂造じいさんとおしみばあさん	吉田佳・手島英治	「茂造じいさん」「おしみばあさん」→中心人物	登場人物
藍五郎の、そこのこそ泥こそ息子！？	藤原和博	「藍五郎」→中心人物 「こそ泥」→泥棒 「息子」→登場人物 「そこ」「こそ泥」「こそ」→「こ」と「そ」を複数用いた言葉あそび。これにより、タイトルの面白みが増している。	登場人物 同音 場所設定

花月商店街 60 年の歴史！？	玉井聡司・ 村上太	「花月」→吉本新喜劇の劇場もある大阪の地名。 「商店街」→舞台 「60年」→吉本新喜劇 60 周年記念に合わせている。	場所設定
二人の幽霊！？	玉井聡司	「幽霊」→登場人物の特徴。	人物設定
すち子の、私マウンテンで恋してん！	佐藤トモ	「すち子」→中心人物 「マウンテン」→山。山が舞台となっていると予想される。 「恋」→恋愛もの 「マウンテン」「してん」→語尾を「てん」で揃えている。	登場人物
			恋愛もの
茂造の、遠くて近い存在	吉田佳・手 島英治	「茂造」→中心人物	登場人物
ウサギ追いし土管公園！？	藤原和博	唱歌「ふるさと」の歌詞のパロディ。 「土管公園」→舞台設定	パロディ
			場所設定
内場夫婦はいい～！夫婦	鳴瀬富三子	「内場」→中心人物 「夫婦」→登場人物の役柄。	登場人物
訳あり物件に幸せあり！？	藤原和博	「訳あり物件」→事故物件や、立地の悪い物件などが連想される。 「あり」を重ねて使うことで、タイトルにリズム感を持たせている。	同音
学食はおふくろの味！？	大東伸明	「学食」→舞台が学校、または学校の食堂。 「おふくろの味」→懐かしい味、馴染みのある味のことを指す。また、「おふくろ」＝「母親」役が登場する可能性も含んでいる。	場所設定
ゾットする結婚相手！？	玉井聡司	「ゾットする」→怖い思いをする時に用いる。 「結婚相手」→登場人物の役柄。「相手」と書かれていることから、中心人物等の結婚相手である可能性が高い。	人物設定
藍五郎の田舎のみんなとい～なかに	三栗雅子	「藍五郎」→中心人物 「田舎」→舞台設定 「い～なかに」→「良い仲に」を敢えてそう表記することで、「いなか」と同じ音で揃えている。	登場人物
			場所設定
隣の芝生は、半分青い。	稲見周平	2018 年の連続テレビ小説「半分、青い。」のパロディ、かつ、ことわざの「隣の芝生は青い」のもじり。	パロディ
			もじり
諸太郎の、家族の絆を大手術！？	藤原和博	「諸太郎」→登場人物 「家族の絆」→劇のテーマであると考えられる。 「手術」→単に医療行為としての言葉ではなく、ここでは家族の仲を修復する、なおす、という意味がある。	登場人物

父の想いは、ゴリ霧中!?	稲見周平	「父」→登場人物の役柄。 「ゴリ霧中」→四字熟語「五里霧中」のもじり。「ゴリ」はゴリラを暗に示していると考えられる。	人物設定
			もじり
後悔しない奴らの航海	村上太	「後悔」「航海」→同じ読み方をする言葉で音を揃えている。 「航海」→舞台が海や港、港町の可能性が高い。ただ、舞台の明確な設定ではないため「場所設定」という特徴としては捉えないこととする。	同音
すち子の、大豪邸! サスパンツ劇場	佐藤トモ	「すち子」→中心人物 「大豪邸」→舞台設定 「サスパンツ劇場」→テレビドラマ「火曜サスペンス劇場」のパロディ。 「パンツ」→舞台内容か劇中のギャグに関するキーワードの可能性が高い。	登場人物
			場所設定
			パロディ
おしみの家具屋でGO!	村上太	「おしみ」→中心人物 「家具屋」→舞台設定	登場人物
			場所設定
妹思いは荷が重い!?	大東伸明・大崎知仁	「妹」→登場人物の役柄。 「思い」「重い」→同じ読み方をする言葉で音を揃えている。	人物設定
			同音
すち子の、10年目の浮気	佐藤トモ	「すち子」→中心人物 「浮気」→劇中で起こるメインの事件だと考えられる。タイトルを言葉通りに読むと、「すち子」が浮気した、という内容になる。	登場人物
恩返しは突然に	宮崎高章	楽曲「ラブストーリーは突然に」のパロディ。 「恩返し」→タイトルを見ると、中心人物の元に突然恩返しをしに人物が現れる、という展開が予想できる。	パロディ
博士の最後の発明	宮崎高章	「博士」「発明」→登場人物の役柄。発明をする博士ということが分かる。 「最後」→人生最後、もしくは博士として最後。	人物設定
すち子の、ウチはなにわの取り立て屋	佐藤トモ	「すち子」→中心人物 「ウチ」→「私」という意味の一人称。 「なにわ」→大阪の地名。具体的な場所を示す言葉ではない。 「取り立て屋」→借金の取り立て。中心人物の役柄。	登場人物
藍五郎の、ハッピーな誕生日かい?	藤原和博	「藍五郎」→中心人物 単に「ハッピーな誕生日」ではなく、「かい?」と疑問を投げかけている。このことから、ハッピーな誕生日ではないことが安易に予想できる。	登場人物

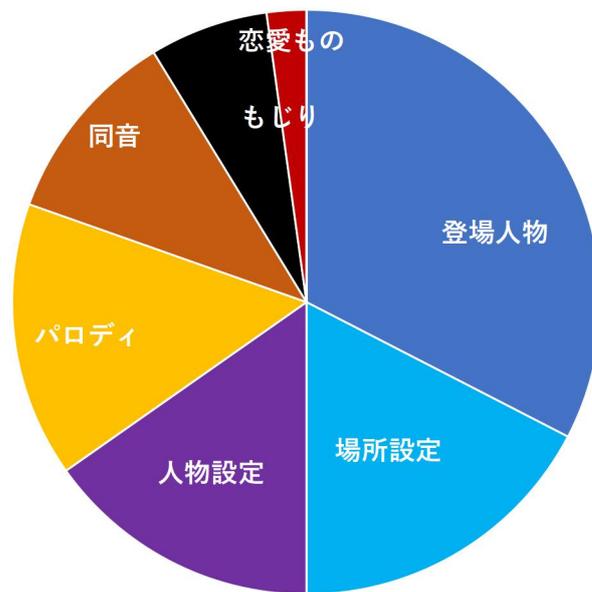
幽霊の子！？	とうめいあんな・佐藤トモ	映画「バケモノの子」のパロディ。「幽霊」が子どもであることが考えられる。	パロディ
すち子の、無人島サバイバル	大崎知仁	「すち子」→中心人物 「無人島」→舞台設定 「サバイバル」→「生き残る」という切迫した意味を持つ言葉。つまり、自ら無人島に向かったわけではなく、何らかのトラブルに巻き込まれ、無人島にいる、ということが分かる。	登場人物
			場所設定

なお、2019年の研究対象全33タイトルのうち、予め定めた特徴のいずれにも当てはまらなかったものは「ベストフレンドな誘惑」のみであった。他のタイトルには1～3つの特徴が見られた。

以下に示すのは、2019年タイトルでの特徴ごとの合計数を表した表と、その割合を多い順に円グラフで表したものである。

特徴	個数	2019年タイトルに対する各特徴の割合
場所設定	8	24.2%
時期設定	0	0%
人物設定	7	21.2%
登場人物	15	45.5%
恋愛もの	1	3.0%
パロディ	7	21.2%
もじり	3	9.1%
同音	5	15.2%

2019年タイトルにおける特徴の総数と割合



2019年タイトルにおける特徴の割合（割合が高いものから時計回りに順に表示）

以上の表とグラフから、2019年分タイトルにおいては「登場人物」「場所設定」「人物設定」「パロディ」「同音」「もじり」「恋愛もの」「時期設定」の順で多いことが分かった。研究対象としているタイトルは、2019年の年始から8月24日までと、が2018年分タイトルのように通年ではないためもあるだろうが、「時期設定」が0という結果になった。

この節でも、前節同様「登場人物」「パロディ」について抽出し、分析を進めていく。

まず、以下に2019年タイトル中で用いられた個人名と、その回数を表にして示す。

個人名	用いられた回数
すち子	6
茂造	2
藍五郎	5
おしみ	1
諸太郎	1
内場	1

この表から分かるように、過去のタイトルでも登場した「すち子」「茂造」「藍五郎」は2018年タイトルでも用いられている。また、両者と同じく座長の「内場」の名前も用いられている。これに加え、「おしみ」「諸太郎」という個

人名称が新たに用いられはじめています。両者とも一般座員であり、「おしみ」は清水けんじ、「諸太郎」は諸見里大介が演じるキャラクターである。2017年と2018年にも「アキコ」という一般座員の演じる役がタイトルに含まれているが、2019年は「アキコ」に代わり2名の一般座員の役名が登場している。また、2018年では2回のみだった「藍五郎」という名称が、2019年8月24日時点で既に5回も登場している。しかし、「藍姐さん」「藍ちゃん」は2019年タイトルには用いられておらず、3つのキャラクターの中で、「藍五郎」が酒井藍の代表的なキャラクターとして、用いられはじめているということが分かる。

次に「パロディ」の分析に移る。パロディで用いられた作品と、その作品の上映・放送・発売された年、吉本新喜劇のタイトルでどのようにパロディされているか、を以下の表で示す。

吉本新喜劇タイトル	パロディ元作品	年
「大恋愛～顔パンパンな君へ」	「大恋愛～僕を忘れる君と」	2018
「藍五郎の、家族の願いを叶えるぞう!？」	「夢を叶えるゾウ」	2007
「ウサギ追いし土管公園!？」	「ふるさと」	1914
「隣の芝生は、半分青い。」	「半分、青い」	2018
「すち子の、大豪邸! サスパンツ劇場」	「火曜サスペンス劇場」	1981～
「恩返しは突然に」	「ラブストーリーは突然に」	1991
「幽霊の子!？」	「バケモノの子」	2015

2019年タイトルは、2018年と2017年分タイトルより研究対象としたタイトル数が少ないが、パロディ元の作品が20年以上前のものも多いことは過去の研究対象としたタイトルの傾向と同じである事は明白である。

ただ、「ウサギ追いし土管公園!？」というタイトルは、研究対象全タイトルの「パロディ」という特徴を持つタイトルの中で少し特異な点がある。他のタイトルは、パロディ元の作品のタイトルをもじっているのに対し、このタイトルはパロディ元の作品の歌詞をもじっているのである。これは他にはない特徴であり、今回も「パロディ」という特徴として分類していいか悩んだところはあるが、タイトルではなくても、明らかに「ふるさと」の歌詞をもじっているもの、既存のものになぞったタイトルであるため、今回は「パロディ」という特徴がある、と判断した。

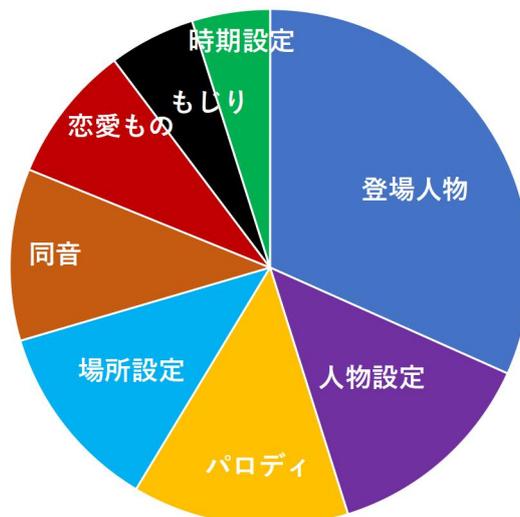
この章では、基本的に各年毎にタイトルを分けて分析していったが、次章からは、以上の分析を通して分かったこと、考察したことを述べていきたい。

## 第3章 分析結果・考察

### 第1節 吉本新喜劇のタイトルに見られる特徴の分析結果と考察

ここまでは、各年毎に吉本新喜劇のタイトルを分け、特徴などについて分析を行ってきた。ここでは、対象全126タイトルを通して、吉本新喜劇のタイトルに見られる特徴に着目する。以下の表は、吉本新喜劇のタイトルにおいて、その特徴ごとの合計数と全タイトルに対する割合を表した表と、その割合を多い順に円グラフで表したものである。

特徴	個数	2019年タイトルに対する各特徴の割合
場所設定	22	17.5%
時期設定	9	7.1%
人物設定	25	19.8%
登場人物	59	46.8%
恋愛もの	16	12.7%
パロディ	25	19.8%
もじり	10	7.9%
同音	20	15.9%



前頁から分かるように、吉本新喜劇のタイトルに見られる特徴として、「登場人物」の数が圧倒的に多い。この結果について、以下で考察する。

他の本研究では吉本新喜劇のタイトルに着目しているため、座長の担う役割等には深く言及せず、割愛することとするが、吉本新喜劇の座長は2017年12月時点でのレギュラー座長は、内場勝則、辻本茂雄、小藪千豊、川畑泰史、すっちー、酒井藍の6人である。座長は通常一回の劇につき一人登場する。また、座長が演じる役のほとんどが、話を進める司会のような役、もしくは物語の中で事件を起こす役どころである。座長が劇中で重要な役をするのが通例であることは想像に難くないだろう。また、座長にも色々タイプがあり、座長によってどのような役どころをするのかも変わってくるし、登場する座員も変わってくる。つまり座長であり劇中の中心人物である役名がタイトルに含まれていることで、「だれが座長か」「どんな座員が登場するか」が視聴者にも容易に想像できるという効果があるのである。また、タイトルに含まれる個人名は概ね座員名とは異なり役名、つまりキャラクターである。その時期に人気のある座長や、その座長が演じるキャラクターを登場させるだけでなく、タイトルにも表記することで、視聴者の興味を惹き、視聴率へ繋げているのだろう。これらのことから、タイトルに含まれる個人名は広告塔の役割を果たしているといえる。つまり、タイトルに個人名が表記されている座長または座員は、視聴者に既に広く認知されている必要があり、有名かつ強烈なキャラクターである、ということである。つまり、ここで年毎の傾向を見ていけば、その時期のトレンドも分かるということである。そこで、まず2017年分のタイトルのトレンドから見ていく。

2017年は、個人名がタイトルに含まれている場合、主にその名称は「すち子」「茂造」であり、その数は同じであるので、間違いなく2017年のトレンドは間違いなくこの両者だと言えるだろう。「シゲオ」「アキコ」は2回用いられており、両者は毎回セットで用いられている。「シゲオ」は「茂造」と同じく辻本茂雄が演じるキャラクターであることから、2017年の研究対象としたタイトルの中で最も用いられた名称は「すち子」「茂造」であるが、最も役名がタイトルに表記された座員は辻本茂雄ということになるだろう。他にも登場回数が多い座長もいるかも知れないが、キャラクターとして広く認知され、タイトルでその登場をアピールしているということと、「すち子」「茂造」「シゲオ」「アキコ」以外の役名がタイトルに含まれていないことから、2017年はすっちーと辻本茂雄の二枚看板だったことが予想される。

2018年も、2017年同様すっちーと辻本茂雄の二大看板であったことは明白である。加えて、2017年から座長に就任した酒井藍の演じるキャラクターの名前を含むタイトルが、年が経つにつれて増えている。2019年には、辻本茂雄と内場勝則が座長を退いた。このことにより、辻本茂雄演じる「茂造」がタイトルで用いられることが少なくなり、代わりに酒井藍演じる「藍五郎」の名称を含むタ

イトルが増加しているのではないだろうか。つまり、それまで吉本新喜劇の看板であった辻本茂雄に代わり、酒井藍が新たな看板として台頭してきたといえよう。

また、他の座長について、2018年、2019年タイトルに登場する「顔パンパン」というキーワードは、座長の川畑泰史を指す言葉である。これは、劇中で川畑泰史が「顔パンパン」といじられているからである。普段から吉本新喜劇を視聴している人間から見ると、一見で川畑泰史だと分かる言葉なのである。ただ、「顔パンパン」という言葉がタイトルに含まれていない場合でも、川畑泰史が出演する場合は多々ある。これは内場勝則と小藪千豊も同様であり、三者の特徴として、座員名と同じ名前の役を演じること多い事が挙げられ、これがタイトルに彼らの事を指す言葉が含まれることが少ない理由だろうと考えられる。逆にいえば、辻本茂雄、すっちー、酒井藍の三者は、座員名と異なるキャラクターを演じることが多いため、そのキャラクター名を紹介する意味でもタイトルに役名を含んでいるのではないだろうか。

さらに、座長でもない一般座員の役名が含まれている場合も、先ほど述べたように、座員名と異なる役名をタイトル内で視聴者に紹介する、示すためにタイトルにキャラクター名を含むのだと考えられるが、それに加えて、座長と同格かそれ以上に劇中で重要な役回りをする事も示しているのではないだろうか。タイトルとして大々的に取り上げられる役名が、物語中の事件に大きく関わらないとは考えづらい。タイトルに個人名称を示すということは、このように視聴者に、座員名とは異なる役名、キャラクターの印象を強く残すためであると考えた。

また、わざわざ個人名称をタイトルに含むということは、特定の座員にしかできないキャラクター、つまり代役のきかない立ち位置であるということも表している。通常の舞台は、公演日によって同じ役でも役者が違っていたり、代役があてられたりするが、吉本新喜劇はそれが無い。個性が強い独自のキャラクターをもつ座員たちは、代役のきかない存在なのである。だからこそ、キャラクターの名前を敢えてタイトルに出し、「紛れもなく誰それが登場するな」と視聴者に分かるようにしてあるということも考えられる。

写真左より  
辻本茂雄演じる「茂造」  
すっちー演じる「すち子」  
酒井藍演じる「藍五郎」



## 第2節 タイトルと物語との関連性についての分析結果と考察

吉本新喜劇のタイトルは第2章でも分析したように、既存の作品をもじったり、駄洒落を用いたり、工夫が凝らされているが、そのタイトルは実際に舞台の物語展開と相違ないものなのだろうか。そこで、吉本新喜劇のテレビ放送分を視聴できるアプリ「大阪チャンネル」に載せられているあらすじを用いて、物語展開の合致性についてさらに分析を進め、考察を行う。ここでは予め定めた吉本新喜劇のタイトルに見られる特徴ごとに、例を挙げながら見ていくこととする。なお、「同音」「もじり」については、駄洒落として用いることで、タイトル中にリズムが生まれる効果を狙っていると考えられるため、この分析の対象外とする。

まず、「場所設定」の特徴が見られるタイトルに着目する。放送年ごとに1つずつ例を挙げ、タイトルと物語展開の関連性を見ていく。

タイトル	あらすじ
「すち子の、社員食堂ラブストーリー」	食堂で働くパートのすち子。ある女性社員の恋を応援するすち子たち。しかしそれを見て他の社員は馬鹿にする。(中略)果たしてこの恋の行方はどうなるのか!?
「居座り病棟 24 時」	花月病院で働く看護師の川畑。新しく担当する病室へ挨拶に向かうが、底は一癖も二癖もある患者たちが。病院も手を焼く何故か退院したがる患者たち。(後略)
「ウサギ追いし土管公園!？」	公園のそばにある喫茶店の娘の藍ちゃん。公園には昔工場があったときの名残で土管がたくさんあり「土管公園」と呼ばれていた。(中略)藍ちゃんはウサギを守ってあげることができるのか!?

以上の表から分かるように、「場所設定」という特徴があるタイトルの場合、タイトルに示された場所と、物語の舞台となる場所は同じになる場合がほとんどである。ある場所をタイトルに含むということは、場所を設定するということであり、この結果は当然といえば当然である。舞台は、場所や時間の設定が重要であり、これがタイトルと内容とで相違があると、それは極端に言えば作品の内容を端的に表すという意味において、タイトルとしての役割をなさない、ということになるからである。特徴として「時期設定」「人物設定」「登場人物」が挙げ

られたタイトルも、「場所設定」と同様の結果が見られた。以下は、「場所設定」と同様に、年ごとに抜粋した各特徴の見られるタイトルの表である。

「時期設定」

タイトル	あらすじ
「茂造の真夏のシークレットラブ」	海辺のペンションで働く茂造。ペンションの息子と向かいの店の娘は犬猿の仲。(中略) 果たしてこの2人はどうなるのか!?
「すち子と年末のジャンボな仲間たち」	宝くじ売り場のアルバイト・すち子は言うことやること、とんでもないオバはん。隣の旅館では、ダイエット道場を開いており、4人の男女がダイエットに取り組んでいた。(後略)

「人物設定」

タイトル	あらすじ
「恋する乙女はちょっぴり太め」	うどん屋のバイトの藍ちゃん。藍ちゃんはあるお客さんに恋心を抱いていた。そしてまさかの逆告白で付き合うことに!! (中略) 果たして藍ちゃんの恋愛の行方はいかに!?
「なんてっ探偵、名探偵!？」	旅館の主人に殺人を予告する脅迫状を送ってきた犯人を探すため、女将に雇われ従業員として潜入捜査にやってきた探偵の川畑と高校生の酒井藍。(後略)
「博士の最後の発明」	とある洋館。底は天才科学者が人体実験をしているという噂の屋敷だった! 博士はそこで長年ある研究に取り組んでいたが、失敗ばかり。(後略)

「登場人物」

タイトル	あらすじ
「茂造の、嫁姑バトル」	旅館のバイトの茂造。その旅館のオーナー家族には複雑な家庭が！？（後略）
「すち子の、夢を叶えるギター」	街なかの小さな楽器屋を営む清水と妻のすち子。ある日、その楽器屋に世界的なギタリストが現れた！（後略）
「藍五郎の田舎のみんなとい～なかに」	田舎の交番で勤務している藍五郎。そこへ、エリート警官だった信濃がある理由で左遷されて来た。（後略）

以上の特徴は、このことから、物語の舞台、状況、登場人物を設定していることが分かった。「時期設定」については、あらすじを見ただけでは関連性が少し見えにくいかも知れないが、放送時期と用いられている「時期設定」のキーワードが一致していること、あらすじで表された場所と「時期設定」のキーワードとの関連性が充分に見られた。

次に、「恋愛もの」の特徴が見られるタイトルと、その物語展開の関連性を、表を用いて見ていく。

「恋愛もの」

タイトル	あらすじ
「リーゼントのシゲちゃん、恋をする」	ホテルで働くシゲちゃん。シゲちゃんはそので働く女性に恋をする。しかしその女性には秘密があった。（中略）果たしてシゲちゃんの恋の行方はいかに！？
「好きだからって、結婚できない！？」	父・一の介のうどんてんを手伝っている泰史は、劇団の安世と付き合っており、周りからプロポーズを勧められ、1人で安世の実家にあいさつへ行くが、（中略）果たして、泰史と安世の結婚はどうなる！？
「すち子の、私マウンテンで恋してん！」	雪山のロッジで働くことになったすち子。ロッジには様々な登山客がやってくるが、天候が悪化し、（中略）果たして遭難客は助かるのか！？

「恋愛もの」においては、表の上2タイトルはあらすじにも恋愛要素が含まれているが、「すち子の、私マウンテンで恋してん！」では、あらすじに恋愛要素が含まれていなかった。話の展開としては、2人からプロポーズされた安世が気持ちに整理をつけるために1人で登山するが、プロポーズした2人も安世を追いかけて登山する、という恋愛に絡む流れがあることが、実際にこの回を視聴して分かった。ただ、やはりストーリーの中心は登山客が遭難した、という事件であり、確かに物語の中には恋愛要素が含まれているものの、それより重要な事件が、あらすじにもある「遭難」であるということも分かった。

つまり、「恋愛もの」という特徴が見られるタイトルであっても、その回の舞台で重要なテーマ、もしくは事件は恋愛要素ではない場合があり、その場合は副テーマとして恋愛要素が盛り込まれているということである。

次に、「パロディ」の特徴が見られるタイトルに着目する。

「パロディ」

タイトル	あらすじ
「3年B組茂造先生～熱血指導編～」	高校教師の茂造。裏手にある公園に地上げ屋がやってくる。(中略)果たして茂造達は公園を守り切ることが出来るのか!?
「仲居さんは小学生!」	家の旅館を手伝う小学生の藍。(中略)旅館を舞台に繰り広げられる問題を、藍は解決できるのか!?
「大恋愛～顔パンパンな君へ」	うどん屋大将の川畑は結婚식을3ヶ月後に控え、(中略)受けた健康診断の結果、3ヶ月の余命宣告を受けてしまう。(後略)

「パロディ」に関しては、パロディ元の作品と一致している設定もある。しかし、異なる部分が多いのも事実である。「3年B組茂造先生～熱血指導編～」では、学校が舞台であること、先生が中心人物となることはパロディ元の作品と同じであるが、パロディ元の作品は中学校が舞台で、パロディしたタイトルの方は高校が舞台である。「仲居さんは小学生!」に関しても、大まかな設定は一致している。しかし、吉本新喜劇の中で起こる事件は、パロディ元の作品とは異なっている。「大恋愛～顔パンパンな君へ」は、「中心人物に恋人がいる」「中心人物の命が短い」という点はパロディ元の作品と一致はするものの、命が短い人物が、パロディ元の作品では女性、吉本新喜劇では男性であるなど、設定にも相違点が見受けられた。

このように、特徴として「パロディ」が挙げられるタイトルに関しては、大まかな人物設定や物語舞台が一致している場合が多いものの、ストーリー展開や物語内で起こる事件などはパロディ元の作品と異なることも多い。つまり、吉本新喜劇のタイトルと物語展開との関連性のみに着目すると、関連性は高いとは言えないが、物語の内容との関連性は高いとも言えるだろう。

以上のことから、総じて吉本新喜劇のタイトルと、その物語との関連性は、概ね認められると考えた。ただし、「恋愛もの」の特徴が見られるタイトルに関しては、恋愛要素が決して物語のメインテーマとは限らないこと、他作品のパロディと見られるタイトルに関しては、パロディ元の作品の設定をある程度引き継いでいるものの、物語の展開はパロディ元の作品とは違ったものになることが多い、ということも言えるだろう。タイトルに「恋」「ラブ」といった言葉が含まれている場合でも、その放送回の物語展開が恋愛沙汰を中心とした構成ではない可能性も充分あるし、他作品のパロディであるタイトルであっても、元ネタと似たような世界観や展開を期待しつつ視聴すると、期待外れの結果になるかも知れない。

## 第4章 まとめと今後の課題

### 第1節 まとめ

ここまでの分析と考察で、吉本新喜劇のタイトルの大きな特徴として、役名（キャラクター名）がかなり高い割合で含まれているということが分かった。また、それは、同じ役名、同じキャラクターの代役などが無い、個性の強い座員達が生み出したものだからこそ、1つのキャラクターは1人の座員しか演じない、という特性を持つ吉本新喜劇ならではの工夫であるということも分かった。タイトルに登場人物の名称が含まれることで、視聴者は「誰が登場するのか」「誰がどのようなギャグをするのか」が想像出来るようになるのである。

他の設定した特徴についても、「場所設定」「時期設定」「人物設定」が含まれているタイトルでは、それらのキーワードに即しない内容、設定が劇中で起こることがほとんどないということが分かった。ただし、他作品の「パロディ」の場合は、パロディ元の作品の世界観をしばしば無視し、いくつかのエッセンスだけを抽出した物語展開になっていることも分かった。また、「恋」や「結婚」など「恋愛もの」の物語展開になるだろうと予想したキーワードが含まれている場合は、確かに物語の展開の中に恋愛要素が含まれているのだが、それがメインテーマ、主な事件ではないことも少なくないことが分かった。

つまり、タイトル内の個人名称はそのほとんどが強いインパクトを持つキャラクターの名称であり、それが物語展開を動かしていくことが多い。さらに、物語の内容に合ったタイトル、かつユーモアを含むタイトルにするために、物語展開とはあまり関係のないキーワードも含む場合がある、ということである。

### 第2節 今後の課題

今回の研究では、吉本新喜劇のタイトルの表現特性について述べてきたが、作者・演出者まで詳しく触れることが出来なかった。作者・演出者は実際にこのタイトルを設定した人物であり、そこを深く掘り下げることで、作者・演出者ごとにタイトルの付け方の「癖」があるのか、もしあれば、それはタイトル分析の際設定したいくつかの特徴と、その特徴の傾向と何か関連性があるのか、が分かってくると考えている。今後は作者・演出者に目を向けることで、私は彼らの「癖」を見つけたい。

## 終章 おわりに

今回卒業論文を書くにあたり、自分の準備不足、知識不足を改めて思い知りました。また、研究対象を変更することもあり、うまく論文としてまとまるか、現在でもうまくまとまっているか、不安な面もあります。しかし、吉本新喜劇という1つのテーマに対して長期間分析を続け、今まで以上に吉本新喜劇を見る機会が増えました。そして、今まで「面白いな」としか思っていなかったタイトルについて、ここまで深く考え、真剣に分析することができ、一吉本新喜劇ファンとして、正直に「楽しかった」という気持ちもあります。卒業論文のテーマを設定するときにも、「自分のためになるもの」「自分が楽しんで書けるもの」をテーマにしよう、と思っていたこともあるので、自分の好きな吉本新喜劇で論文を書いて、良かったと思います。

最後までめげずに卒業論文に取り組めたのは、分析方法、着眼点、分析対象の設定についてなど、助言をくださった先生方のお陰です。自分一人では到底書き上げることは出来ませんでしたし、「楽しい」と思いながら卒業論文を書くことは出来なかったと思います。

まだまだ足りない部分ばかりの私ですが、自分の好きなものについて見聞を深められたことで、今後の私の生活は、より豊かになるのだと思います。もちろん、吉本新喜劇を見るときにも、今までとは違う見方が出来ると思いますし、それがすごく楽しみです。

様々なことを話してくださり、また教えてくださった野浪正隆先生、そして国語教育専攻の諸先生方に深く御礼申し上げます。

【参考文献】

スマホ劇場「大阪チャンネル」

<https://osaka-channel.hikaritv.net/>

吉本新喜劇オフィシャルサイト

<https://www.yoshimoto.co.jp/shinkigeki/>